2022 年 2 月吉日 生活産業研究所株式会社

ADS-BT for ARCHICAD Ver12 追加修正項目

ADS-BT for ARCHCAD Ver12(Archicad25 対応版)(以下、本システムといいます)における追加 修正項目は以下の通りです。

入力ガイド

■入力ガイド

○入力ガイド機能を追加しました。メインパレットより、オン/オフを切り替えます。



○本システムの操作が初めての方や不慣れな方でも安心して設定することができます。
 ○Ver12 では与条件設定が対応しています。

■与条件設定入力ガイド

- ○与条件設定の入力をガイドします。選択した与条件設定項目に応じて、操作手順や設定項目の 説明を表示します。
- ○本システムでの計算対象を選択し、選択した計算対象に必要な設定項目を設定します。
- ○設定項目の根拠を選択できます。設定内容が確定しているのか未確定なのかを設定状況より確認することができます。

🖉 メインパレット>	与条件設定入力ガイ	٢							?	×
☑斜線計算	☑日影計算	☑天空率計算	ーガイド 用道	金地域領域数欄	より、本敷地内の	D用途地域領域	数を選択して下さ	<i>\</i> \₀		
項目	設定状況		用過	金地域設定欄より)アイコンを選択し	、本敷地内の用	月途地域を設定し	ます。		
共通										
本敷地	618.00m		m los	0-1-0-00						
高さ基準	確認済		用违							
方位	未確定 95.0	0° (95度0分0秒)		確定 供	8. 新年計画	이지 않는것				۱ ۲
境界線条件	最大道路幅8	3.000m	0	未確定						
斜線·天空率計算	I									
用途地域	準住居、近隣	商業	用途地	地領域数(本	敷地内のみ対象	ę)				
地盤面	0.000m		01	つの用途地域	④ 2以	上の地域にまたた	がる			
高度地区	東京都 第3	種	~	用冷地状态。	*公寓)/迫を1 十/	.=7		公室地	白出服み	
日影計算			\sim	/11.20-413-436.0R-43	871 EURIC / (/) (74.20		기리에	ak Hu Kar	
日影計算範囲	確認済		用途地	地設定						
日影規制条件	日影規制条件 5時間3時間-4m 日影規制ライン 内側:5.00m 外側:10.00m									
日影規制ライン			□ 10 用途地域を設定します。							
緯度·経度	未確定 緯度	: 35度42分00秒 経度: 139度-	No	用途地域名	面積	建蔽率	容積率	採用容積率	容積	
日照条件	8時00分~:	16時00分、冬至[12月22日頃]、	1	準住居	362.25mi	70.00%	400.00%	320.00%	0.40	~
			2	近隣商業	255.75m	80.00%	600.00%	480.00%	0.60	
			合語	t	618.00mi	74.14%		386.21%		
<		>				_				v
設定状況凡例			<						>	
<mark>赤字</mark> :根拠が未 青字:根拠が未	選択です。項目を選 確定です。	択して根拠を選択して下さい。					ワークシー	NC出力 又イ	ンパレット	涙る

○入力ガイドがオンで根拠が未確定の設定項目がある場合に、メインパレットより各種計算を選 択すると、未確定の設定項目がある旨の確認メッセージを表示します。

🔼 ADS-BT	×
	下記の与条件設定が未設定または根拠が未確定です。計算 を実行しますか?
	·根拠未確定項目 真北 緯度·経度
	いいえ はい

与条件設定

■サブパレット

○サブパレットのコマンドをワークフローに合わせた順番に変更しました。サブパレットのコマンドを左から右に操作を進めることで、与条件設定が完了します。



○「方位」コマンドをサブパレットに追加しました。



○「その他計算条件」コマンドの名称を「日影計算条件」コマンドに変更しました。



■方位

○「方位」ダイアログを追加しました。

🔼 与条件設定>方位	? ×
☑方位記号オブジェクトを作成する	90°
プロジェクトの北: 95.00° 18	B0° - 0°
(95度0分0秒)	270°
方位指定	2.7 2
Archicadオプションメニュー>プロジェクト設定 角度の単位で10進法と60進法の切り替えや 設定することができます。	三>作業単位の 小数の桁数を
キャンセル	OK

○数値入力または方位指定で方位を設定します。

※数値指定の入力単位は Archicad オプションメニュー>プロジェクト設定>作業単位の「角 度の単位」の設定が反映されます。

○方位記号オブジェクトの作成を選択できます。



※方位記号オブジェクトは Archicad 標準ライブラリオブジェクトの「方位記号」で作成しま す。当該オブジェクトが存在しない場合、方位記号オブジェクトは作成されません。

○方位指定時に2点指定の順番を明記しました。



■用途地域

○計算対象高さ制限欄の表示を変更しました。

○法第56条第4項の後退距離緩和の適用の選択を追加しました。

与条件設定>領域条件	Х
A	
用途地域 高度地区 地盤面 日影規制	
準住居 ~ 容積率低減係数 0.40	
建藏率: 70 % 道路斜線勾配 1.25	
日本(単一) 100 第一 構造 100 m 構造 100 m	_
計算対象高さ制限	
☑ 道路斜線 ☑ 隣地斜線 ☑ 北側斜線 ☑ 絶対高さ	
○ 法第56条第4項の後退距離緩和を適用する (法第56条第3項が適用される場合のみ)	

■地盤面

○Archicad の高度 0mとの関係を明記しました。

与条件設定>領域条件	×
用途地域 高度地区 地盤面 日影規制	
高度0mからの地盤面高: 0.00 m (今第2条第2項) へ Archicadの高度0m	

■日影規制

○Archicad の高度 0m と平均地盤面高との関係を明記しました。

与条件設定>領域条件	×
A	
用途地域 高度地区 地盤面 日影規制	
規制条件: 5:00-3:00, 4m 🗸 🗸	
高度0mからの平均地盤面高: 0.00 m (法別表第4欄外)	
Archicadの高度0m	

■日影計算条件

○名称を「その他計算条件」から変更しました。

○「方位」タブを削除し、サブパレットからの設定に変更しました。

○「後退距離緩和」タブを削除し、用途地域からの設定に変更しました。

■ワークシートに出力

○「ワークシートに出力」ダイアログを追加しました。

○出力するワークシートの「参照 ID」及び「名前」の設定ができるようになりました。

🔼 与条件部	定>ワークシー	トに出力	?	×
出力するワーク	クシート名を入	カして下さい。		
参照ID	ADS			
名前	与条件			
		+7>2N		ОК

斜線・逆日影計算

■建物高さチェック

○計算ピッチ欄を削除しました。

○建物高さチェックの計算条件を明記しました。

斜線・逆日影計算>建物高さチェック ×
「計算」を選択して3Dビューで計算結果を 確認して下さい。
建物高さチェック対象高さ制限 ・道路斜線制限
·北側斜線制限 ·高度斜線制限
 ・絶対局さ制限 ※建物要素が入力されている場合、 後退距離が自動で適用されます。
※日影計算は建物高さチェックの 対象外です。
削除計算

日影計算

■サブパレット

○サブパレットのコマンドをワークフローに合わせた順番に変更しました。

メインパレット>日影計算	×

■ワークシートに出力

○「ワークシートに出力」ダイアログを追加しました。

○出力するワークシートの「参照 ID」及び「名前」の設定ができるようになりました。

🔼 日影計算	[>ワークシートに出	力	?	×
出力するワー	ウシート名を入力	して下さい。		
参照ID	ADS			
名前	日影			
		\$p>211	Ok	(

天空率計算

■ 測定点

○測定点半径、フォント、計算結果の平面及び 3D 表示、計算結果ごとのペン番号の設定ができ るようになりました。メインパレット>環境設定>天空率図形タブより設定します。

/▲ メインパレット>環境設定
計算対象エレメント 本敷地等 日影1 日影2 天空率図形 各種計算表等 レイヤー 天空率
測定点:サイズ(半径) 500 mm M S ゴシック 日本語 ~ M:::‡ 5.00 mm
計算2結果表示: □平面 □ 3D □計-適のみ
 ◎: _ U 4 ○: _ U 17 ×: _ U 20 未: _ U 1

○計算結果の平面及び 3D 表示を有効にすると、測定点に計算 2(求積計算)の結果を表示しま す。デフォルト設定は非表示になっています。





■位置確認線

○ペン番号、フォント、位置確認指定点 No 及び建物高さの平面及び 3D 表示の設定ができるようになりました。メインパレット>環境設定>天空率図形タブより設定します。

/ メインパレット>環境設定
計算対象エレメント 本敷地等 日影1 日影2 天空率図形 各種計算表等 レイヤー 天空率
位置確認線: _ U 17 M S ゴシック 日本語 ∨ M:::‡ 5.00 mm 指定点No表示: ☑ 平面 ☑ 3D 建物高さ表示: □ 平面 □ 3D

○位置確認指定点 No 及び建物高さの平面及び 3D 表示を有効にすると、位置確認指定点 No 及び測定点からの建物高さを表示します。デフォルト設定は指定点 No の 2Dのみ表示になっています。



■ワークシートに出力

○「ワークシートに出力」ダイアログを追加しました。

○天空率領域リスト及び天空図の出力するワークシートの「参照 ID」及び「名前」の設定がで きるようになりました。

ᢙ 天空率計算>ワークシートに出力	? ×
出力するワークシート名を入力して下さい。	
天空率領域リスト	天空図
ADS 天空率領域リスト 道路 領域No1	ADS 天空図 道路 測定点No1
参照ID ADS	参照ID ADS
名前 天空率領域リスト	名前 天空図
✓ 斜線種別を追加する ○ 前方 ● 後方	 ✓ 斜線種別を追加する ○ 前方 ● 後方
☑ 領域Noを追加する	☑ 測定点Noを追加する
○前方 ●後方	○前方 ●後方
□ 天空図を重ねて出力する	
	キャンセル OK

その他

■パレット、ダイアログの階層表示

○サブパレット及びサブパレットの一階層下のパレット又はダイアログのタイトルを階層表示に しました。



■インポートの確認事項表示

○インポート選択時にインポートに関する確認ダイアログを追加しました。

🔼 メインパレット>インポート	?	×
ADSシリーズで作成したADSファイル(.adsf/.cw3)を1	インポート	します。
インポート対象 ・与条件設定 〇 ・建物ブロック 〇 ・各種計算結果 × ・印刷プレビュー ×		
※建物ブロックは下記のレイヤーにモルフ要素でインポー ※下記のレイヤーは本システムの計算対象外レイヤーで インポート後に任意のレイヤーに変更して下さい。	・トされます ですので、	f .
・斜線非対象、日影非対象 :ADS_建物 ・斜線対象、 日影非対象 :ADS_建物 ・斜線非対象、日影対象 :ADS_建物 ・斜線対象、 日影対象 :ADS_建物		
※本システムは壁面日影計算機能は未対応です。 ※本システムは適合建築物及び計画建築物の形状編 未対応です。	集機能	t
	C	K

■エクスポートの確認事項表示

○エクスポート選択時にエクスポートに関する確認ダイアログを追加しました。

🔼 メインパレット>エクスポート		?	×	
ADSファイル(.adsf)をエクス エクスポートしたADSファイル できます。	ポートします。 よ、adsf形式に対応したADSシリ	ーズで開くことが	t	
エクスポート対象 ・与条件設定 ・建物ブロック ・斜線・逆日影計算結果 ・日影計算結果 ・天空率計算結果	0 0 x x 0			
※現在平面図でシェーディング表示しているレイヤーで、環境設定で計算対象 に設定されたArchicad要素を建物ブロックとしてエクスポートします。				
		Ok	(

以上。